

## 過去を振り返って～最近思うこと

愛媛県立新居浜高等技術専門校の平田君から久しぶりにメールをもらい、何かと思ったら、原稿依頼でした。とにかく平ちゃんが困っているのなら何とかしなければと、よくわからないうちに引き受けてしまいました。

平ちゃんとは4年間、訓大学生寮で酒を酌み交わした仲間です。今では寮もアパートのような雰囲気になってきましたが、私たちの頃はまだ建て替えの最中で、相部屋のB棟2階204号室に入ったのが最初でした。B棟2階（特に201～206号室）のつながりは強く、寮や研究室でよく鍋をつつきながら酒を飲んだりしていました。

私は平成7年4月より富山県技術専門学院の自動車整備科で訓練に携わっています。学生時代は情報工学科の菅野先生にお世話になっていましたので、畑違いの道に進んだこととなります。また、平成9年より3年間、商工労働部職業能力開発課に異動を命じられ、職業能力開発行政について見聞を広めることができました。そこで、そのときの話を少し書いてみたいと思います。

### 《技能競技大会について》

平成11年に技能競技大会関係の仕事に携わりました。技能競技大会は大きく分けて青年技能者対象の『技能五輪全国大会』、1級技能士対象の『技能グランプリ』、障害者対象の『全国障害者技能競技大会(アビリンピック)』の3つがあります。

一番思い出深いこととしては、アビリンピックに富山県から2人の選手と一緒にスタッフとして参加したことです。2人とも初参加でしたが、旋盤の選手が金賞・労働大臣表彰(1位)、日本語ワープロの選手が努力賞という成績でした。この経験を生かし、より社会に貢献できる技能労働者として活躍されることを期待しています。

### 《広報について》

平成10年より2年間は「広報」も大事な仕事の1つでした。広報するときには、適切なタイミングと要点を絞った原稿作りの大切さを学びました。その経験を生かし、現場に戻ってきてからは、訓練生の就職活動の手助けができればと、広報に力を入れることにしました。というのも、富山県の自動車整備業界では当学院の知名度がまだまだ低いということを感じたからです。そのため、業界の取りまとめ役である社



(福井県選手団との記念撮影。後列右端が私です。)

団法人富山県自動車整備振興会の会報に採用に関する記事を掲載してもらうよう働きかけました。会報に掲載されればディーラーの各事業所はもとより、中小の専業・自家工場にまで、当学院の名前がいきわたることを期待したからです。業界の発展のためならと振興会の方々に快く承諾していただき、2002年の3月号に初めて掲載されました。その後、何件か問い合わせがあり、今後も継続して広報していくことで、学院の知名度の向上につながり、訓練生が有利に就職活動を進めることができると考えています。

### 《情報公開について》

最近、情報公開の流れが一段と強くなってきたように思います。現在、当学院の入学試験(数学、国語、適性試験)の内容は受験者に一部公開されているものの、まだまだ未公開の部分が多いのが現状です。いずれ全面公開するときがくると思われるので、適切な問題作りによりいっそう心がけていく必要があります。皆さんのところでは、どのように入学選考をしておられるでしょうか。アドバイス・ご意見があれば、末尾に記載してあるメールアドレスまでご一報ください。よろしく願いいたします。



次のリレートークは、訓大時代に橋本駅前のパチンコ『有楽』と一緒にアルバイトをしていた岩手県立高度技術専門学院の飯坂君にお願いしました。飯坂君は岩手県労政能力開発課勤務のとき、岩手県で2004年に開催される第42回技能五輪全国大会の開催準備をした経験があります。ぜひ、苦労話を聞きたいものです。

E-mail : koshi.yamamoto@pref.toyama.jp